



## 「日本の未来を切り拓く地・山梨づくり」に向けて 長崎県政スタート!

今、山梨県では、リニア中央新幹線や中部横断自動車道など県民の生活に豊かさをもたらす国家プロジェクトが次々に進行しています。この過去最大のチャンスを生かし、県民の皆さんが、昨日より今日が良くなったという「実感」、今日より明日が良くなるという「確信」が持てる、希望と元気と活力のある山梨づくりに取り組んでいきます。

## 交通アクセスの飛躍的向上によって 大きな可能性を秘める山梨

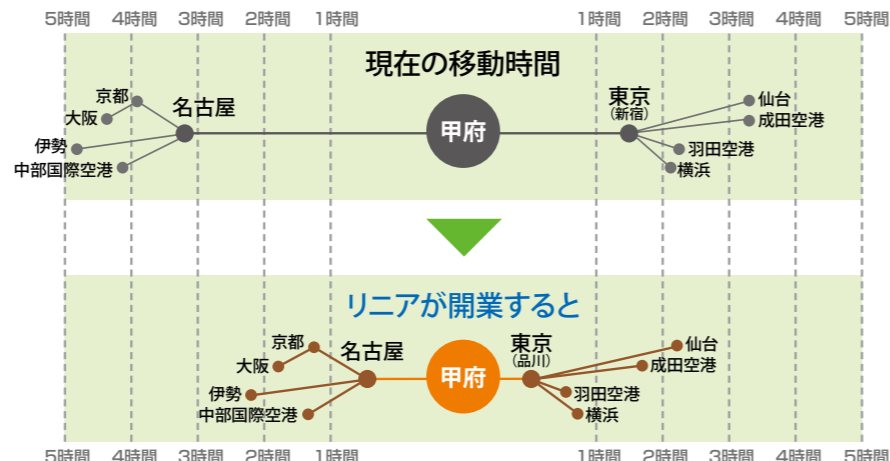
### 2027年 リニア中央新幹線 品川-名古屋間開業

リニア中央新幹線は、品川から甲府市付近、赤石山脈（南アルプス）中南部、名古屋市付近、奈良市付近を經由し、大阪市までの約438kmを約1時間（最高時速およそ500\*<sub>km/h</sub>）で結ぶ新たな新幹線です。2027年には品川-名古屋間が先行開業し、その後、大阪まで延伸されます。



### リニアが開業すると

リニア中央新幹線が開業すると、甲府と東京都心が約25分で結ばれるようになり、また、中京圏・関西圏からの無理のない日帰り旅行も可能になります。さらに、主要な空港からの所要時間も大幅に短縮されることから、人と情報の交流密度が飛躍的に向上することが期待できます。



### 中部横断自動車道 山梨-静岡間全線開通に向けて

中部横断自動車道は、静岡県静岡市を起点に、山梨県甲斐市を經由して長野県小諸市に至る延長約132kmの高速道路です。2019年3月には、富沢IC~新清水JCT間が開通し、山梨県は約40年ぶりに高速道路で他県とつながり、現在、山梨-静岡間（双葉JCT~新清水JCT）の全線開通に向け、残る下部温泉早川IC~富沢IC間の整備を進めています。



富沢IC（静岡方面を望む）（提供：NEXCO中日本）



新清水JCT（甲府方面を望む）

（提供：NEXCO中日本）

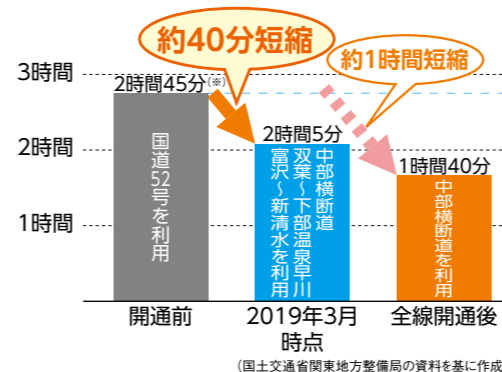
### 中部横断道が開通すると

中部横断自動車道が開通すると、東名高速道路、新東名高速道路、中央自動車道、上信越自動車道がつながり、日本海・太平洋の臨海地域と山梨県・長野県との連携・交流が促進されます。

また、山梨県の産業・経済の発展や観光振興に寄与するとともに、大規模災害発生時の避難や救命救急など、命の道ともなる重要な役割を担うことが期待できます。

### 移動時間の大幅な短縮

山梨県から静岡県までの移動時間が約1時間短縮されます。



注) 高速道路、一般国道、主要地方道、一般県道を対象に算出。高速道路：80km/h、中部横断：70km/h、一般道路：40km/h。山梨県庁から静岡県庁への移動時間を算出。  
※ 中部横断自動車道（双葉JCT~新清水JCT）を利用しないという設定で移動時間を算出。

